



2022.03.16

POLI.design 奨学金名 「マンリオ・アルメリーニ」に決定

ミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)は、ミラノ工科大学の家具デザイン修士課程の優秀な学生を対象に、その中心的存在の一人にオマージュを捧げる取り組みを行っています。

イタリア共和国功労勲章大十字騎士 勲章受賞者であり、優れた人間性を持つマンリオ・アルメリーニは、1961年の初開催以来、ミラノサローネを主催していたコズミット社社長、後にCEOに就任して以来、ミラノサローネの中心的存在として大きな功績を収めました。彼のリーダーシップのもと、家具システムの国際的なショーケースとして、企業のための議論の余地のない基準点となったのです。

妻のアルミーダ・アルメリーニ氏とともに、POLI.designが運営するミラノ工科大学家具デザイン修士課程の奨学金を推進するミラノサローネ代表マリア・ポッロは、以下のように彼を回想しています：

「常に精力的で先見の明があり、洗練され、そして寛大な人物でした。1965年、家具業界のリーディングカンパニーを1つのホールに集め流行のデザインに重点を置いたことで、サローネの商業的価値を高めようとする直感が生まれ、今日、私たちが知るミラノの誇り、そして国全体の誇りとなっています。」

そのため、ミラノ工科大学デザイン学部のアレッシンドロ・デセルティ教授とPOLI.designの社長兼ミラノ工科大学デザイン学部長のフランチェスコ・ズーロ氏が指導する家具デザイン修士課程は、「サヴォアフェール(匠の技)」のモデルとして、企業とデザインの特別な出会いの場、そして常に品質という名の研究・革新の中心となってきたミラノサローネの深いルーツと合致しているのです。

フランチェスコ・ズーロのコメント：

「社会経済的な文脈の中でデザインの役割を自覚し、覚悟を持ったデザイナーを育成することが基本になります。なぜなら、そのアプローチによって、デザインは公共機関や民間企業、中小企業や多国籍企業の革新と競争のための戦略的な資産となるからです。マンリオ・アルメリーニはそのことをよく理解しており、彼の仕事のおかげで、我が国だけでなく、全世界にそれを示すことができたのです。」



アルミーダ・アルメリーニ氏のコメント:

「ミラノ工科大学の参加のお陰で、ミラノサローネとともに、この奨学金を立ち上げ、優秀な若者2名の技術と熱意を表彰できることを大変うれしく思います。主人は、企業だけでなく、常に大きな希望と信頼を寄せてきた若い才能のために、数え切れないほどの重要なイニシアティブを先見の明をもって創造し、推進してきました。ですから、彼がサローネのためにしてきたことが、これからも新しい世代に認められることを大変嬉しく思います。」

この奨学金は、ミラノサローネらしく国際性を重視し、イタリア人学生 1 名と外国人学生 1 名の修士課程への入学金の 50%をカバーし、修士課程のディレクター、マリア・ポッロ氏とアルミーダ・アルメッリーニ氏で構成する委員会が授与します。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it